

横浜市支部総会にさわやかな新風

横浜市支部は、開業・一般・衛生の3部会に分かれています。我が衛生部会の総会参加は毎年ごく少数で、肩身の狭い思いをしていました。

横浜市職員で衛生行政に携わる同窓生は、獣医のみならず各学部、各学科の卒業生が多数存在しています。どの職場にも必ず同窓生が居るほどで、大変心強いものでした。しかし、なぜ総会への参加を断るのでしょうか。それは、開業の獣医師とは縁遠いとの思いもありますが、何より酒が入ると一変する校風？も原因のようでした。

かつて新人女性を連れて参加した時、皆は大歓迎してくれたのですが、酒が進むほどに、引っ張りだこで横に座らせお酌の強要をはじめ、コンパニオン扱いをしていました。今ならセクハラで訴えられますよ。当然の如く噂が広がり、以後衛生部会からの女性参加者は居なくなりました。

平成19年7月20日、ホテルキャメロットジャパン桃花苑で開催された第26回総会に、若き女性3名が参加しました。折しも総会当日の午後、保健所有志で結成した「横浜市の犬猫の施策を考える」研究グループの集まりがあったのです。なんと8名中5名（私以外4名は女性）が同窓生ではないですか。ならばと、夜の総会への参加を懇願するものの、過去の忌まわしい記憶が脳裏に…。今夜、彼女達が嫌な思いをしたら二度と参加者は居なくなるのでは…。

そんな心配をよそに、総会は大はしゃぎの一名以外はきわめて紳士的で、実に楽しく会話が弾み盛り上がっていました。これなら次回も、さらに仲間を連れて参加してくれることでしょう。

今や衛生部会の主流は女性です。若手はほとんど女性しか居ません。時代は変わったのです。これからは、おじ様達も変わっていかないと嫌われますよ。

そんな時代の変化を感じつつ、横浜にさわやかな新風がふいていく予感がしました。



副支部長 黒澤 泰（54年卒）